

常磐毎日

発行所 75 常磐毎日新聞社
〒1,210 平野町新1-1-269
電話 210
婦産人科 齋藤医院
平野町新1-1-269

工場誘致とともてきぬ

諸橋市長 陳情団につげなく語る

新川北第二地区調整事業は、地元民たちの強い反対で思わぬ事態に発展、平野市長は戸惑わされているが、十六日市役所に押しかけた代表たちが「土地をどうする代りに工場でも誘致して新しい職を創出してくれ」と陳情したのに対し、諸橋市長は「まず出て来ないとソツケなく突かれた。また路上最近PTA連合会などが中心となって再び強硬な要求が出てきている市立高校の設立、短期大学の設立などもともてきぬと語っている。PTA連合の陳情に対しては努力しますが約束しなからず一週間にわたる間、他の陳情団にはアツサリでできませんと語る市当局者の態度を当日居合せた陳情団の一人は「信念のない為政者のしぐさは」と厳しく語ったが、諸橋市長の説明によると次のような理由からである。

大学も無理です

競輪の収益へるから

先づ工場の誘致であるが、戦後平野市が各種の工場誘致を計画したが、そのいづれの場合にも調整事業の対の土地問題が第一の障害となつてくること、土地買収費が他市並みに低くならず工場誘致も望みがあるが、現在のように高価で買収されては平野市の財政ではまかなない切れないからできないと語っている。

当局は誠意示せ

区劃整理は必要である

平野市の新川北第二地区調整事業は、地元民たちの強硬な反対にあつて意外な事態に発展した。去る六月の市議会では絶対多数で当局案が通過しているのだから、来る九月に予定される県の審議会でも市当局案が通過することは先づ間違いないとみられる。地元民が反対して同地区の区劃整理が中断されるようなことは有り得ないが、と語つて当局が地元民の声を無視するような態度でなければ、流血の惨事を引き起した砂川事件の二の舞にもなりかねない進行にあら

頭の痛い商店街

本町舗 客足はへるばかり

平野市のメインストリート、二丁目(條)に早くやつてくれと頼んで目の黒い間は市内各商店街の目録、特売作業のワケでやるた目録工事は十月二十日を目途に急いでいるが、これと併行して進められている電話ケーブル線、水道パイプの埋設工事、コンクリート舗装の架設工事、さらには雨どりの架設工事、排水ポンプの設置工事、土木事務所、請負業者らはなんでもこなさなければならぬ。そこで交通止めになった一、二丁目にはパツパツ客足が途絶えたり半分にガタ落ち、金融引締りのおおむねが取り返される暗くへたをするとの経済見通しも暗くへたをするとの才未大売出しにひびくとあつて関

片浜一周百三十圓

常磐交通 運賃値上げ実施

常磐交通は十二日福島市で行つた常磐線管内の四社と協議、各社とも一キロ当たり現行基本運賃三圓を三圓五十銭に値上げする。これを要するとして二十日から各線ともバス運賃改正を行う。主要路線の改正運賃は次の通り。
▽片浜線内郷十五圓、湯本二十圓、小野新町百七十五圓、江七十五圓、一廻目三十圓、▽川平三十五圓、宮崎野崎二十圓、四倉三十五圓、久の浜五十圓、▽湯野五十圓、▽赤井下二十五圓、小川三十五圓、高崎五十圓、川前九十五圓、小野新町百四十圓、▽好間山二十五圓、▽三坂線新町野崎合五十五圓、中寺八

クリーニング 洗張・防水 小松崎

平館前 電話1343

剣道具を購入 内郷教育委

内郷市教育委員会は、市内各小中学校に剣道用具を贈与する。贈与用具は、市内各小中学校にそれぞれ贈与した。

バターと大砲 は殿様の独占 藤越

バターと大砲の独占は、殿様の独占。藤越。小名浜 平野市

吉野谷鑛泉 案

永らく御不自由をお掛け致しまして、電灯がつかまりました。皆様の御出を心から御待ち致して居ります。

エスロン桶

販売店 大谷建材店 平野町新町 電話三六六

お願ひ!

明十八日(水曜日)は従業員慰安のため誠に勝手ながら休業させていただきます。

色川材木店

一般材・製材材 銘木・建

民族の地下足袋運動靴 丸高

丸高 民族の地下足袋運動靴

高柴ダムに五億圓要求

建設省 大蔵省と予算接渉始る

警備合開路はより軌道にのり小名浜港開港、国道新設を足並そろえて進めた。このため開路の母体となる高柴ダムの建設については今年度はじめから実施計画調査をしてきたが、年度内で調査を終了するので建設省では三十三年度費多目的ダム事業として事業費五億圓(うち国庫補助一億五千万圓)を要求することになり、二十六日から大蔵省と予算折衝を行うことになった。本折衝では三十三年度から本格的に工事入り、三十五年完成の予定になっている。完成すれば工業用水の確保で無産職に近い石炭、天然ガス、石灰石などの地下資源が開採され職員の工務費も進展することになる。

失對人夫が減り

勿來 八カ所の事業中止

警備共同火力発電所などの高賃金の工事があつたため勿來地区の失對人夫が減り、このため同地区の失對現場十一カ所のうち九カ所が九月から事業中止となっている。勿來地区は県下でも内郷市に次いで失對者の多い所で、従前の二十一年には七百五十人の失對労働者がいた。それが昨年暮ころから減りはじめ八月末現在五百五十人に減つた。ほとんどの失對労働者のため各事業所では工事を進めたい。

安藤公の銅像

來年八月までに再現

郷土の生んだ偉大な外交家安藤公守正公の銅像再現は資金が調集できず行つてしまつたが市内有界で完成されていく。信正公銅像再現同盟会(会長藤橋久太郎氏)ではこのほど資金の調集などについて協議した。その結果資金を早急に調集して近く像製作に着手することになり、來年八月ごろまでに完成させることになった。

青柳選手も出場

世界重量舉選手権に

世界重量舉選手権大会は十一月九日から四日間イランの主都テヘランで行われるが、これに出場する日本選手五名の三名が石城で占められ、重量級の名手高橋たけしが内郷市出身の青柳清選手(法大)がパンナム級で出場することになり、十七日世界重量舉理事、平工敬論阿地通海氏に連絡が入つた。青柳選手は現在総合で三百キロの記録を出しているが、今大会での上位入賞が期待されている。本を日本が世界重量舉に参加するのは初めてで、十月三十日日本を出発、十一月十五日帰国予定である。

一家五名が

食中毒

警備市渡辺学舎高木本木作之助さん(五十四)の朝食にスズキを刺身にして食べたところ作之助さん(五十四)と三女(三十三)が食中毒になり、三女(三十三)は重症で入院した。勿來市稲田町稲田医師の手診を受けるとともに十六日朝平保衛所警備市分室に届出たが、鮮度の落ちたスズキを食べたためとみられている。

内郷の放火事件

あす注目の第二回公判

世間の注目をあびた内郷市の放火事件、人見助一(三三)同市宮町南院二回公判はあす十八日午前十時から地裁平支部法廷で稲村裁判長係り、鈴木検事、稲村弁護人立会いで開かれる。あすは去る七月三十一日の第一回公判で稲村弁護人から申問のあつた証物物件と証人、更迭証人等が行われることになつて、人見が事件の放火、放火未遂を認めていた。また法廷には人見の手記、焼け出された稲草が多数あつた。公判は十八日午前十時から江名公民館で開かれる。

老後を明るく

江名に八千代会誕生

警備市江名町の八千代会発会式は行われた。これは元同地区婦人会長は役員本を志した。和歌や戸田アキ、比佐マツ、近藤マユミ等が演説人となり、私達人間は世間を唯々驚かすばかりで生きて居る限り、その喜びを味わひたい。世のさまざまならず互に話し合ひ助け合ひ、助け合ひながら余生を幸福に過す一助として今回の発会となつたもので、いつまでも老人の練習を並べるといふから脱皮し若い世代を多少とも理解し家庭を明るくし給はれる老人達になることを念願している。会費は百六十名に達して、敬老会とはまた一歩前進した会でもある。此れにより結婚の滞りの解消は必然である。他市町村からも其の成果が注目されている。

内高の箱崎投手

新潟交通に就職決る

県下高校野球界一の好投手といわれる内郷高校野球部箱崎修二君(二一)が新潟交通に就職することになり、命日の十月二十二日生地小島町で除服式を行う。坂本君は明治十九年同志社(現大津)を出て、興業界に入社。同四年、昭和三年に立地好打、好投を兼ね全高国大会で死んだ。その間在米福島県立大に進学し、公共事業に携はつた。箱崎君の引退は、アンダーハンドから大きく割れ心を通じ、復興は精神の新生。

創立以来の

五人を表彰

平井善事所では老人の日にちなんで九月十六日午前十時から善事所内で元氣に暮らしている老人五名に金一封を贈り表彰した。表彰された老人は次の通り。
酒井善三郎さん(七三)山本さん(七三)青木ナカさん(七三)山本さん(七三)

ピタリとお気に合ふこと
うけ合ひ!!
正札堂洋服店
平井大通リ

張山時津

東 関 脇 時津山関 住 所 東京都新宿区津久土町10番 TEL (33) 3962

秋の栄養補給に
鎌倉ハム各種特約店
緑屋 牛肉問屋
本店 平市一丁目 電話五三九
支店 平市中通通り 電話七九四

オクスリの御用命は...
堀薬局
平市二丁目 TEL 326

御奮闘祈る
伊東
平市駅前 電話二〇三三

和洋紙 雑貨 荒物
命大一屋
平市二丁目 電話三三三

秋の栄養補給に
越の家
平市二丁目 TEL 889

割烹
谷口
平市二丁目 TEL 8・1065

